

第136回教育研究評議会議事要録

日 時 平成28年5月9日（月）14時00分開会～15時31分閉会

場 所 医学部本部棟5階 大会議室

欠席者 なし

陪席者 千家監事，篠塚監事

議事に先立ち，第135回教育研究評議会の議事要録について確認された。

議事録の最後の部分について以下のとおり修正することで，了承された。

「この他，田坂評議員から公的研究費等に関する不正防止にかかる誓約書の提出に関する要望があったが，平成28年度は，当初の通知どおり実施することとし，次年度については別途検討することとした。」

協議事項1. 教育・入試改革特別委員会 審議事項について

学長から，昨年設置した教育・入試改革特別委員会の審議事項について協議依頼があり，武田教育・入試改革担当副学長から資料に基づき，審議事項に関する説明の後，以下の内容の確認があった。

- ・学長のミッションのうちグローバル化の推進は，クォーター制の導入の検討に含まれていること。
- ・各学部で実施されている様々な入試をどのように考えていくかについては，学部の事情も考慮しながら検討していくこと。
- ・クォーター制の導入は，大学教育自身が悪れないように検討していくこと
- ・ディプロマポリシーの作成単位は，現行どおりで考えられていること。
- ・共通テストとの関係については，全貌が明らかになるまで待っていると検討が遅れるので，含みこんだ形で検討していること。
- ・各学部がディプロマポリシー到達度合いをどのように考えるか，そして全学でどのように確認していくかが問われてくること。

報告事項

学長から，報告事項については，「会議の効率的な開催について（申し合わせ）」に基づき特に説明が必要な事項について報告する旨の説明があり，報告事項3. 荒瀬理事から，資料に基づき，平成28年3月卒業・修了者の進路状況について報告があった。

- ・安定的な雇用に就いていない者の割合に対する分析について確認があり，卒業生に対する支援がどのようになされているか調査する必要があるが，大学として手厚い就職支援を実施しているとの認識が示された。
- ・全体に就職率が上がっているが，女子学生の非正規の割合に変化がない点についての分析及び対策について確認があり，次回報告することになった。

また，報告事項4. 荒瀬理事から資料に基づき，平成28年度入試実施状況について概略の報告があり，学長から大学院の定員確保の重要性について言及があった。

さらに、荒瀬理事から報告事項その他として、資料に基づき平成28年度大学教育再生加速プログラム（AP）「高大接続改革推進事業」への公募申請について説明があった。

- ・就職に活用するのであれば、3年生の成績を企業に見せることが必要であることが確認された。